

初版発行日: 2010年10月28日
第6版更新日: 2023年4月1日
最新第8版更新日: 2025年4月11日

カガライト製品安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

製品の名称: カガライト (製品共通)
会社名: カガライト工業株式会社
所在地: 石川県金沢市釣部町ヤ14-1
担当部署: 業務部
TEL: 076-252-3338
FAX: 076-252-3343
担当者: 松本 勇
MAIL: gyoumu@kagalite-kogyo.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日 H28.03.18、政府向けGHS分類ガイダンス(平成25年度改訂版(ver1.1))を使用
(物化危険性及び健康有害性)
健康に対する有害性 生殖細胞変異原性 区分2
発がん性 区分1A
特定標的臓器毒性 区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)
(反復ばく露)
分類実施日 H28.03.18、政府向けGHS分類ガイダンス(平成25年度改訂版(ver1.1))を使用
(環境有害性)

注)上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については、政府向けガイダンス文書で指定された「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。なお、健康有害性については後述の11項に、「区分に該当しない」または「分類できない」の記述がある。

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語 危険
危険有害性情報 遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
長期に渡る、又は反復ばく露による呼吸器、免疫系、腎臓の障害
注意書き 【安全対策】 保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。

- 【救急処置】 吸引した場合は医師の診断を仰ぐこと。
- 【保管】 吸湿の可能性があるので湿気の無い場所で保管すること。
- 【廃棄】 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
- 【他の危険有害性】 データなし

3. 組成・成分情報

化学名:	軽石
化学組成: (代表値)	SiO ₂ 73.7%
	Al ₂ O ₃ 13.5%
	純粋な軽石は非晶質のシリカ(二酸化珪素)であるが軽石は天然鉱産物であり天然由来の結晶性シリカを数%含む事がある。
	X線回折装置で結晶質シリカの含有量を求めると、Quartzを5%以下含有。
	ガラスビード法による蛍光X線分析法(JIS R 2216に準拠)にて測定。
官報公示整理番号:	該当なし
CAS番号:	該当なし (結晶性シリカは14808-60-7)

4. 応急処置

吸入した場合:	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 医師の診断・手当を受けること。
皮膚に付着した場合:	水で洗い流す 異常がある場合は医師の診断・手当を受けること。
眼に入った場合:	流水で洗眼する。 異常がある場合は医師の診断・手当を受けること。
飲み込んだ場合:	水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状:	データなし
応急処置をする者の保護:	救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項:	データなし

5. 火災時の措置

消火剤:	周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。
使ってはならない消火剤:	データなし
特有の危険有害性:	データなし
特有の消化方法:	データなし
消化を行う者の保護:	消化作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置:	関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、 眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項: 封じ込め及び浄化の方法 及び機材:	河川等に排出され、環境への影響をおこさないように注意する。 少量のもれやこぼれた粉末はプラスチックシートで飛散を防止し、雨にぬれない ようにする。 漏洩物に囲いをして、あとで廃棄する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への侵入を防ぐ。 床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて 保護具を着用する。 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い	湿気、破袋に注意する事
注意事項:	接触、吸入又は飲み込まないこと。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
接触回避:	データなし
衛生対策:	データなし
保管	
安全な保管 条件:	施錠ができる場所では施錠して保管のこと。 フレコン劣化の原因になるので直射日光の当たらない場所で保管する。 湿気水濡れに注意する。
安全な容器	
包装材料:	密閉式の破損の無いものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	$E=3.0/(1.19Q+1)$ E:管理濃度(mg/m ³) Q:当該粉じんの遊離けい酸含有率(%)
-------	--

許容濃度:	
日本産衛学会:	0.03mg/m ³ (2018年度版)(吸入性結晶質シリカ)
ACGIH:	TLV-TWA:0.025mg/m ³ (2019年度版)(結晶性シリカ、 α -クォーツ及びクリストバライト)
設備対策:	作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具:	
呼吸器の保護具:	適切な呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具: 適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具: 適切な眼の保護具(安全ゴーグル等)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具: 適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的物質

物理的状态:

形状:	固体 (20℃、1気圧)
色:	類白色
臭い:	データなし
臭いのしきい(閾)値:	データなし
pH:	4~7

融点・凝固点: データなし

沸点、初留点及び沸騰

範囲: データなし

引火点: データなし

蒸発速度(酢酸ブチ

ル=1): データなし

燃焼性(固体、ガス): データなし

燃焼又は爆発範囲: データなし

蒸気圧: データなし

蒸気密度: データなし

比重(相対密度): 1.2以下

溶解度: データなし

n-オクタノール/水分配

係数: データなし

自然発火温度: データなし

分解温度: データなし

粘度(粘性率): データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	データなし
化学的安定性:	データなし
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	湿気、水
混触危険物質:	データなし
危険有害な分解生成物:	データなし

11. 有害性情報

急性毒性:

経口	GHS 分類: 分類できない データ不足のため分類できない。
経皮	GHS 分類: 分類できない

吸入:ガス	データ不足のため分類できない。 GHS 分類:区分に該当しない
吸入:蒸気	GHSの定義における固体である。 GHS 分類:区分に該当しない
吸入:粉じん 及びミスト	GHSの定義における固体である。 GHS 分類:分類できない
皮膚腐食性及び 皮膚刺激性:	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性:	GHS 分類:分類できない
呼吸器感受性:	データ不足のため分類できない。 GHS 分類:分類できない
皮膚感受性:	データ不足のため分類できない。 GHS 分類:分類できない
生殖細胞変異原性:	データ不足のため分類できない。 GHS 分類:区分2
発がん性:	天然由来の結晶性シリカを数%含む事があるため。(SIDS(2013)などによる。) GHS 分類:区分1A(発ガンの恐れ)
生殖毒性:	天然由来の結晶性シリカを数%含む事があるため。(ACGIH(2019)などによる。) GHS 分類:分類できない
特定標記臓器毒性: (単回ばく露)	データ不足のため分類できない。 GHS 分類:分類できない
特定標記臓器毒性: (反復ばく露)	なお、旧分類のヒトにおける呼吸器影響のデータは短期ばく露であり、単回 急性影響のデータではない。 GHS 分類:区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)
誤えん有害性:	天然由来の結晶性シリカを数%含む事があるため。(SIDS(2013)などによる。) GHS 分類:分類できない
	データ不足のため分類できない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性):	GHS 分類:区分に該当しない 天然由来の結晶性シリカを数%含む事があるため。(SIDS(2013)などによる。)
水生環境有害性 長期(慢性):	GHS 分類:分類できない データ不足のため分類できない。
オゾン層への有害性:	当該物質はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは 地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に

従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	特段の規則はない。
国内規制	
海上規制情報:	船舶安全法に従う。
航空規制情報:	航空法に従う。
陸上規制情報:	消防法、道路交通法に従う。
特別の安全対策	輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。水濡れの無い様に適切な処置をする事。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

PRTR法:	指定なし
毒物及び劇物取締法:	指定なし
消防法:	指定なし
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
大気汚染防止法	
労働安全衛生法（第22条 粉じん障害防止規則）	
労働安全衛生法（第57条の2 通知対象物質）	
じん肺法（法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業）	

16. その他の情報

【本安全データシート(SDS)の記載内容及び取り扱いについて】

記載内容は、作成時点の資料、情報、データ等に基づき作成しており、今後、新しい知見により修正、追加されることがあります。また、製品の安全性を保証するものではありませんので、ご使用者の責任において安全対策を実施していただきますようお願い致します。

【参考文献】

各データ毎に記載しました。

【注意】

本SDSはJIS Z7252(2019)及びJIS Z7253(2019)に準拠して作成しています。